

平成28年度 学校評価表

江津東小学校

学校教育目標: 心豊かで明るくたくましい東っ子の育成

めざす子ども像: **ひとにやさしくできる子(徳)** **がんばって学ぶ子(知)** **しんが強くたくましい子(体)**

		中期経営目標	短期経営目標	達成のための方策	評価指標	目標値%	自己評価					学校関係者評価		改善計画	
							アンケート				評 価	結 果 と 課 題 の 説 明	コ メ ン ト	評 価	改 善 案
							教 職 員	児 童	保 護 者	地 域					
1	豊かな心づくり	人間尊重の精神に基づいた教育を推進する	人権・同和教育の充実	・教職員の研修(進路保障の取り組み) ・便り等による保護者への啓発 ・人権・同和教育に視点を当てた授業	教職員の研修を計画的に実施した。 人権・同和教育に視点を当てた授業を行った。	80%	100%	87%	97%	100%	A	計画的に人権教育に視点をあてた授業や活動を行い、児童の意識も高まってきた。	・来年度の発表会に向けて力を入れていることがわかる。人権に関する本の読み聞かせをしているが、一生懸命聞いていて、伝えたいことが伝わっていることがわかる。 ・引き続きいじめをなくして行ってほしい。	A	
2			よりよい生き方をめざす道徳教育の充実	・資料や題材の工夫と活用 ・道徳の時間と日常生活の連携を図る。	道徳コーナーを設置する	80%	100%	85%	96%	100%	A	資料や題材の見直しを行い、他教科や行事との関連を図りながら指導することができた。道徳の授業について指導主事に指導を受け、指導力の向上を図った。	※すべてのA評価において、今後も継続して取り組んで成果を上げてほしい。	A	
3			特別支援教育の充実	・校内支援体制の充実 ・個別の指導計画、支援計画の作成 ・コーディネーター便りの発行(教職員、保護者向け)	個別の支援ができるように、特別支援教育コーディネーターと連携を図った。	80%	92%	89%	91%	100%	A	支援計画や指導計画に基づいて計画的に支援ができています。今後も指導を継続していく。		A	
4			コミュニケーション力の向上	・人間関係構築力を学ぶ赤ちゃん登校日 ・伝え合いを意識した授業を積極的に取り入れる ・学級通信等で保護者へ啓発	伝え合う力の育成をめざした学習活動を取り入れ、コミュニケーション力の向上を図った。	80%	100%	85% 87%	93%	100%	A	どの授業でも話し合いの場を作り、学習形態や自分の考えを持たせた。話し合いの課題を明確にもたせる必要がある。	・赤ちゃん登校日はすごくいい取組なので続けてほしい。生命の大きさをしっかり教えてほしい。事前学習会で共通理解を図る。	A	
5	確かな学力づくり	基礎・基本の定着を図り、考える力を育成する	基礎的・基本的内容の定着	・東っ子チャレンジ会(漢字、計算) ・書写タイム ・ウォーミングアップタイムの実施 ・放課後学習	東っ子チャレンジ学級平均80点以上 データを取り、基礎・基本の定着を継続的に確認した。	80%	100%	84%	84%	/	A	計画的に行ったが、児童が力の伸びを感じにくい部分もあったので、内容を基礎・基本に絞り、実施していく。学校だよりなどで学習の様子の発信が少し足りなかった。	項目の5～8は細かく目標を立てて取り組んでいるので、少しずつ向上していると感じる	A	
6			魅力的で創造的な授業づくり	・粘り強く学び、思考力を高める学習 ・学習課題を明確にした授業づくり	思考力を高める授業を行った。 学習課題を明確にした授業を行った。	80%	92%	86%	98%	/	A	学習課題を明確にし、板書等で見通しを持って取り組めるようにしている。		A	
7			図書館活用教育の充実	・読書指導の充実 ・司書教諭と連携した授業の実施 ・学級通信等で保護者へ啓発	1人あたりの平均貸出冊数 90冊 司書教諭と連携をとって図書館を活用した授業の回数(2回以上)	80%	100%	66%	/	/	B	児童の質問の内容が学年の実態とは合っていない。高学年はページ数が多いので週2回は難しい。利用の指導や教科と関連づけて活用はしている。	質問の文言を実態に応じて変える。	B	
8			家庭学習の定着	・家庭学習カードの活用(学年×10分) ・家庭学習の手引きの活用 ・学習課題の充実	(学年×10分)の達成率 80%	80%	100%	72%	81%	/	B	東っ子チャレンジ週間の学習計画をたてる指導を行い、学習習慣を身につけることができるようにする。高学年では宿題の出し方を工夫し、学習計画を自ら立てることができる力を伸ばす。	・低学年は自分が学習している時間が余りびんときていないため割合が低くなっているのではないかと。 ・保護者のもと家庭学習をしてほしいという思いが見られるのではないかと。	B	
9	たくましい体づくり	基礎体力の向上をめざし、健康で安全な生活をする	基本的生活習慣の定着	・あいさつ、返事、はきものそろえ ・生活目標への位置づけ	あいさつや返事、はきものそろえができるようくり返し指導した。	80%	92%	88% 84%	94%	83%	A	目標値は達成しているが、現状として地域の方など誰にでも気持ちの良いあいさつができていない。	・地域ではあいさつをしていると感じる。子どもたちはしていると思うが、大人のあいさつのイメージをギャップがあるのではないかと。	A	今後も継続して取り組んでいく。
10			体力づくりの推進	・体力向上推進計画の共通理解と徹底 ・しまねっこ元気アッププログラムへの参加 ・児童会活動との連携した活動の実施	しまねっこ元気アッププログラムでの記録が伸びた子の割合(80%)	80%	80%	85%	75%	/	B	どの学年も体育の授業で取り上げて行っている。保護者への質問の仕方とプログラムのことが一致していないので、数値が低かったと考えられる。		B	保護者への質問の仕方を変えていく。
11			給食指導、食育の推進	・栄養教諭による食の学習 ・日常給食指導の充実	栄養教諭と連携した食の学習を計画し、実施した。	80%	92%	93%	91%	100%	A	どの学年も食の学習を行い、給食試食会で保護者へ食に関する啓発活動を計画的に行った。		A	
12			なかよし班活動の充実	・異学年交流で、交流する場を計画的に作る ・感情交流の場面を意図的に作ったか	・なかよし班で活動した回数(昨年度並み) ・感情交流の場面を必ず設けた。	80%	100%	91%	94%	/	A	昨年と同様の回数で取り組めた。活動後の感想交流も意図的に取り入れ、各学年の相互交流もできた。		A	なかよし班を中心とした活動を、年間を見通して計画的に取り組む。
13	信頼される学校づくりを進める	家庭、地域との連携を密にし、よりよい教育を提供する学校づくりを進める	ふるさと教育の充実	ひと、もの、ことを活かした学習 ・各種校外学習、体験学習 ・生活科、社会科、総合的な学習	・地域のひと・もの・ことを活かした学習を行った回数(昨年度並み)	80%	100%	/	95%	92%	A	どの学年も地域を通して事象を考えるという姿勢で積極的に地域に出かけたり、地域の人を活用したりした。	・JPXはおもしろい取組で、継続してほしい。 ・地域と一緒に食べる、技術を伝える等の活動ができればいい。	A	
14			積極的な学校公開の場、情報発信	・東っ子を語る会 ・授業公開日 ・各種便りの発行 ・学校評価の公表	積極的に学校公開の場をもった。学校だより、学級だよりを定期的に発行した。	80%	100%	/	97% 99%	100%	A	学校の様子を見ていただいたり、伝えたりする場を計画的に実施することができた。学校だよりも毎月継続的に発行することができた。		A	
15			保小中の連携の推進	保育園、中学校との計画的な連携 ・交流活動 ・授業交流(外国語活動、算数等) ・連携担当者による情報交換	保育園や中学校との連携計画を立て積極的に実施した。	80%	100%	/	95%	100%	A	今年度は1,2年が保育園児を招いて交流活動を行った。中学校とも学習会や人権集会、コミュニケーション講座など交流の場を多くもつことができた。	・校区の特色を活かして小中合同の活動がいろいろできるのではないかと。例えば地元の産業を調べてお互いに発表する等。	A	
16			学校評価の充実、教職員評価システムの充実	・校内研修の充実 ・教職員の連帯感の高揚	積極的に研修に参加し、指導力の向上に活かした。	80%	100%	/	/	/	A	来年度人権教育研究発表会を控えているので、全国の発表会を視察する機会を多くもち、それを共有することで意識の高揚を図った。		A	

A: 目標値をすべて達成 B: いずれかが目標値を下回る C: 2つが目標値を下回る D: すべて目標値を下回る